



城島 de 婚活

■11月1日(日)12時30分～17時30分
■下田校区コミュニティセンター
■対象城島町に興味がある24歳～55歳までの独身の人
■料金1,500円
■定員男女各10人・抽選
■申込締切10月20日(火)
■申込方法ホームページ

◎久留米10万人女子会の國武さん
(☎090・9072・2771、
✉100000jyoshi@gmail.com、
🌐https://100000kurume.localinfo.jp/)

コスモス会 (水彩画)

■第2・4火曜13時～16時
■野中生涯学習センター
■会費月額3,000円。入会費1,000円
◎同会の井上さん
(☎090・7452・1346)

悠ゆう会 (はがき絵・美文字)

■第1・3水曜13時30分～15時
■野中生涯学習センター
■対象高校生以上
■会費月額2,500円
◎同会の室園さん
(☎090・7463・0303)

ちくご路かわら版

久留米市と共に久留米広域市町村

圏を形成する大川市、小郡市、うきは市、大刀洗町、大木町のイベントなどを紹介します。

【うきは市】柿狩り

■10月中旬から12月上旬までの9時～17時
■うきは市内の観光柿園
◎観光会館 土蔵
(☎0943・76・3980、
FAX 0943・76・4039)

編集後記

・市役所の予算は何かと融通が利かないといわれます。それは「今年はこのういつこのために、これだけ必要」と、市民を代表する機関である議会で認められた使い道を、行政が勝手に他のことに使わないようにするための、制度上の縛りでもありません。そんな市役所の予算も、いまだ収束の兆しも見えないコロナや、水害などによる傷が癒えない中、今年度は大型の補正を重けています。行政も議会も一緒に、市民の皆さんの支援に懸命に知恵を絞っています。広報紙が支援を必要とする皆さんの声になって、その入り口の一つになれていれば幸いです。(成)

日曜在宅医

※平時の診療時間や災害時の開閉は各医療機関にお問い合わせください
※医療機関が変わる場合があります。変更は市ホームページ「日曜在宅医」で確認してください

10月4日	
内科	
竹田津医院	国分町 21-3720
緒方胃腸科医院	庄島町 34-8311
合川さかもと内科	合川町 41-8585
小郡三井医師会 休日診療センター	小郡市 72-5534
富田病院	城島町 62-3121
宿里医院	大川市 86-4069
菊池医院	うきは市 0943-75-2711
外科	
出口外科胃腸科医院	山川道分 43-2329
神代病院	北野町 78-3177
池田クリニック	城島町 62-3100
福田病院	大川市 0944-87-5757
宮崎整形外科	田主丸町 0943-72-1000
小児科	
かとう小児科	大善寺町 27-2220
眼科	
橋本眼科医院	小郡市 72-2335
耳鼻科	
重森耳鼻咽喉科医院	善導寺町 47-3387
歯科	
森田歯科医院	城南町 33-8943
産婦人科	
福井レディースクリニック	津福本町 39-2288

10月11日	
内科	
堀川病院	西町 38-1200
赤司内科医院	山川道分 44-2095
俣野内科医院	梅満町 32-5710
小郡三井医師会 休日診療センター	小郡市 72-5534
安本病院	三瀬町 64-2032
古賀医院	三瀬町 65-0240
古賀内科小児科医院	うきは市 0943-77-2009
外科	
花畑病院	西町 32-4565
高木病院	大川市 0944-87-0001
高宮クリニック	大川市 0944-86-2812
田主丸中央病院	田主丸町 0943-72-2460
小児科	
さかた小児科クリニック	御井旗崎 27-8841
眼科	
末田眼科医院	諏訪野町 35-1231
耳鼻科	
かみむら耳鼻咽喉科	大牟田市 0944-52-4426
歯科	
藤本歯科医院	国分町 21-1507
産婦人科	
とみおかレディースクリニック	中央町 39-6678

10月18日	
内科	
内山内科医院	津福本町 32-9168
薬師寺内科医院	国分町 21-2683
文化街診療所	日吉町 33-3903
丸山病院	小郡市 73-0011
小郡三井医師会 休日診療センター	小郡市 72-5534
富田病院	城島町 62-3121
萬年内科	城島町 62-4161
いけどう循環器内科医院	田主丸町 0943-72-1233
外科	
徳安医院	宮ノ陣 32-3129
福田病院	大川市 0944-87-5757
高木病院	大川市 0944-87-0001
原鶴温泉病院	うきは市 0943-75-3135
小児科	
きむらアレルギー・子どもクリニック	野中町 40-7700
眼科	
小川眼科医院	北野町 41-3701
耳鼻科	
平木医院	みやま市 0944-62-3405
歯科	
緒方歯科医院	日吉町 32-8044
産婦人科	
田崎クリニック	長門石 33-7227

夜間・休日の子どもの急な病気やケガで心配なときは
小児救急医療電話相談へ
■平日19時～7時、土曜は12時から、日曜・祝日は24時間受け付け
■プッシュ回線・携帯電話#8000 ■ダイヤル回線37-6116

※休日当番薬局は久留米三井薬師会ホームページへ



■藤野薫さん(左)、寺島妃呂子さん
寺島さんは、市社会福祉協議会職員。現場の意見を反映させるため、2年間市に出向し、計画策定を担当。藤野さんは、知的障害者の親の会「手をつなぐ育成会」の事務局長

シリーズ みんなで生きる みんなが活かす

3 みんなにやさしい「わかりやすい版」

せめて大切な部分だけでも伝えたい

家族や地域で支え合う力が弱くなり、少子高齢化や人口減少が止まらない現代社会には、いろんな課題が現れています。今年4月にスタートした「くるめ支え合うプラン」は、地域の課題をみんなの力で解決できる「地域共生社会」を実現するための計画です。行政が作る計画の多くは専門用語だけでなく、知的障害のある人や外国人、子どもなどには難しいところもあります。地域共生社会の実現には誰もが役割を持つことが大事。ならば「大切な部分」だけでも、あらゆる人に伝わらなければなりません。そういった視点から計画完成を目前に控えた3月に「わかりやすい版」の制作が決まりました。

地域でのつながり方を伝えるツールに

市社会福祉協議会の寺島さんは「プランには多くの人の声を反映させました。だからこそ、できるだけ多くの皆さんにお返ししたいと強く思ったんです。一部の人にしか見られない物にはしたくなかった。そう考えていたところ、わかりやすい版を作ってほしいという要望ができました」と話します。市の担当者話し合い、最も伝えたい部分だけに絞ろうと決めました。地域共生社会実現のために、読んだ人がどのように行動すれば良いかをイラストと最小限の言葉で表現。相談先一覧を含めた全8ページで構成しました。大切にしたのは、主なターゲットとしている人に本当に伝わるかという点でした。そこで、知的障害者の親の会「手をつなぐ育成会」の皆さんに協力を仰ぎました。

実は今回、わかりやすい版を提案したのは、同事務局長の藤野さんでした。「素直に『素晴らしい物ができた』という気持ちです。障害を持っていると地域でのつながりをとてつくりにくいんです。この冊子は大切なことがシンプルに現れていて、伝わりやすいと思います」と藤野さんは話します。

わかりやすい版は市と市社協のホームページで公開しています。必要な情報を必要な人に届けるために「分かりやすく」した工夫。誰にとっても計画の敷居を下げることになりそうです。

◎地域福祉課 (☎0942・30・9175、FAX 0942・30・9752)

救急車を呼ぶか、病院に行くか迷ったときは救急電話相談・医療機関案内
プッシュ回線#7119 または ☎092・4711・0009へ。24時間受け付け



要望が出たくるめ支え合うプランの協議会。今年の会合で完成を報告しました



手をつなぐ育成会の皆さんと寺島さんは何度も原稿を確認しました

この事例はどれ? 地域共生社会の実現のために、13の取り組みの視点があります。掲載した取り組み事例がどれに当たったかを、黄色で示しました。

地域共生社会に向けた取り組み

13の視点

- ① つながりの構築
- ② 見守り活動の推進
- ③ 誰もが集える場の拡充
- ④ 個別対応が必要な人への支援
- ⑤ 災害時要支援者への支援
- ⑥ 権利擁護の推進
- ⑦ 多機関連携の推進
- ⑧ 財源確保の推進
- ⑨ 地域における人材の育成
- ⑩ コミュニティなどへの支援
- ⑪ 事業者などの地域貢献の促進
- ⑫ 福祉人材の養成と資質の向上
- ⑬ 福祉の理解を深める取り組み

市ホームページ「くるめ支え合うプラン」へ



詳しくはこちら